

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年5月10日

事業所名 放課後等デイサービス「遊友」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	2	1	・活動内容によっては、同施設内の部屋を借り、十分なスペースで活動している。	・利用者の状況によっては静かな場所が必要な場合もあり、今後は空間づくりを検討していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	9	2	0	・子どもの利用人数に合わせてパートタイマーを増減させて対応している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	4	1	・一部バリアフリーではない場所があるが、安全配慮に心掛け声掛け見守りしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	4	0		・自己評価の結果について職員で話合う機会を設け、改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2	0		・法人ホームページ、事業所内に掲示しているので、再度周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	3	・児童発達支援センターの心理士に支援のアドバイスをいただいた。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0		・オンラインでの研修等に積極的に参加できる環境づくりをしていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	7	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	4	0		・子どもたちからの自発的な意見も取り入れ、活動を組み立てていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0		・子どもたちからの自発的な意見も取り入れ、活動を組み立てていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	2	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1	0	・打合せ以外にもボードを使って、各自でも担当や流れが分かるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	8	0	・日誌や記録で情報共有している。	・シフト制のため引継ぎに漏れないよう意識することを心掛けていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	0	・記録を書く際に、計画がすぐに確認できるようにしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	0			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	6	0		・毎月定例の職務会等の機会を利用し、ガイドラインの基本活動について更なる周知に努める。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	9	2	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	9	2	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	4	3		・医療的ケアの児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	7	4	0	・たんぼぼ卒園児については情報 共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	8	3	0	・必要に応じて保護者に了承を得 たうえで情報を提供している	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6	5	0	・児童発達支援センターたんぼぼ に児童に関すること等を相談、助 言いただいている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	7	・コロナ禍の状況下で交流活動に 制限をしながらの一部事業者との 交流となっている。	・コロナ禍の状況下で交流活動に制限を 設けざる負えなく、今後の状況を見なが ら機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	8	1	・同課の別係の職員が参加してい る。	・担当が別係のため、情報が伝わりにく いが、課内会議等で積極的に共有してい きたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	10	1	0	・送迎時やLINE、連絡帳にて情報 共有をしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	6	3			
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	9	2	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	10	1	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	7	4	0		・コロナ禍での制限も緩和されている点 で、今後はより連携を支援していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	9	1	1	・事業所内に意見箱を設けている。 ・日頃から困り感を聞くように心が けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	11	0	0	・月1回ゆうゆうだよりを発行してい る。 ・ラインで画像や動画を送り、保護 者に様子が伝わるようにしている。	
	35	個人情報に十分注意している	11	0	0	情報発信については同意書をいた だいている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	3	5	3	・地域のパン屋や民生委員と一緒 に活動する機会を設けている。	・地域のパン屋や民生委員と一緒に活動 する機会はあるものの、招待はできてい ない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	4	0		・保護者についてはオリエンテーションにて、職員については、職務会等の機会を利用し、マニュアル等について更なる周知に努めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	0	・社会福祉センター全体の消防訓練に参加している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1	0	・子ども支援課で虐待防止委員会を設置し、研修にも参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	3	0	・契約時に保護者へ説明している。が、現在計画へ記載を要する児童がいない。	・対象児童が現在いないものの、今後研修等で認識の共有化を図っていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	5	0		・アレルギーがある子どもはいるが、本人自身が把握しており、医師の指示書はない。 ・今後そのような子どもがいた場合は対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2	2		・その都度、職員間での情報共有、記録はされているが、すぐに確認できるように事例集を整備中。